

■星亨	政党政治家。代言人となって財産築き、藩閥政府と格闘しながら、衆議院議長・大臣にまでなるが、暗殺された。
ほしとおる	
国定忠治	藩・1850＝
	江戸八官町の左官の子として生まれたが、
	幼時に実父が出奔し、母の再婚した巫医星泰順の養子となった。
ペリー来航	・1853＝ 3歳：
	貧窮のうちに、一家で江戸・相模を転々とした後、
安政の大獄	・1859＝ 9歳：
桜田門外変	・1860＝10歳：
	横浜に住むことになり、
	神奈川奉行所蘭方医に弟子入りし、奉行所付属英学校で英学を学ぶ機会を得、
薩長同盟	・・1866＝16歳：
大政奉還	・1867＝17歳：
明治維新	・・1868＝18歳：
	御家人の養子となり、_幕府開成所に入学、 離縁されたが、_開成所教授何礼之の推挙で、幕府海軍伝習所英語世話役となり、 _く明治維新>後、小浜藩英語学校教師を経て、大阪の{瓊江塾}塾頭となる一方、 _何礼之の紹介で陸奥宗光の知遇を受け、和歌山藩英学助教授となり、大阪府洋学校訓導を兼ねた。
廃藩置県	・・1871＝21歳：
学問のすすめ	1872＝22歳：
明治6年政変	1873＝23歳：
佐賀の乱	・・1874＝24歳：
	〈廃藩置県〉後、_陸奥が県令だった神奈川県英学校の教頭を経て、 大蔵省雇となり、屈折した反エリート意識から、羅卒との喧嘩で免職となるも、すぐに復職し、 豊職棟梁の娘と結婚。ブラックストーン「英国法律全書」の翻訳、 _横浜税関長となり、イギリス公使との紛争で免職となるも、陸奥らの配慮でイギリスに留学、 ミドル=テンプル法学院に学び、
西南戦争	・・1877＝27歳：
大久保暗殺	・1878＝28歳：
琉球処分	・・1879＝29歳：
	_日本人として最初のバリスター・アット・ローを取得して、帰国した。 司法省付属代言人となり、同時に、門弟と代言事務所を開業、 *イギリスのジャーディン=マセソン商会と後藤象二郎の訴訟で、後藤に有利に和解させ、名声を得、通常代言人(弁護士)として一財産を築くとともに、代言人の地位向上のため努力。
明治14年政変	1881＝31歳：
新体詩抄	・・1882＝32歳：
岩倉具視没	・1883＝33歳：
秩父事件	・・1884＝34歳：
	*宮城獄中の陸奥宗光を訪問後、自由党に入党し、党財政改革・党勢拡張に努め、 _同党常議員・{自由新聞}幹事となって、立憲改進黨攻撃の先頭に立ち、 板垣総理補佐となる。_政府弾圧の強まるなか、私財を投じて絵入り新聞{自由燈}を創刊。北陸に遊説に出、 新潟の演説で官吏侮辱罪で逮捕され、保釈中、自由党大会で解党決議されると、反対の電報を打続け、
内閣発足	・・1885＝35歳：
帝国大学始	・1886＝36歳：
国民之友始	・1887＝37歳：
初の対等条約	1888＝38歳：
帝国憲法発布	・1889＝39歳：
帝国議会始	・1890＝40歳：
足尾鉾毒始	・1891＝41歳：
大本教	・・・1892＝42歳：
	_出獄帰京後、民権運動の再建に努め、 _帰国後、立憲自由党幹事となり、 _党を代議士団を中心とする議員政党に改組し、 *第2回総選挙で栃木一区から当選、第3議会において第2代衆議院議長に就任したが、陸奥と協力して、自由党を改進黨との民党連合から袂別させ、旗印に政府との提携へと転換させたことから、 _相馬事件と取引所収賄事件を契機に、議員を除名される。{めさまし新聞}創刊。第3回総選挙に立候補し激しい選挙戦の末再選されたが、借金で苦境に陥り、
日清戦争始	・1894＝44歳：
日清戦争終	・1895＝45歳：
白馬会	・・・1896＝46歳：
	_く日清戦争>中、井上馨駐朝公使の世話で、朝鮮政府法律顧問となり、 _帰国し、自由党内での主導権回復に努めるも果たせず、伊藤博文首相の斡旋で、 _駐米公使となり、アメリカのハワイ併合での日本人移民の利益擁護に取り組むとともに、移民・貧困層の援助してニューヨーク市政の多数を占めていたタマニー派(タマニー・ホール)の研究を進める。
子規句歌革新	1898＝48歳：
	_成立した隈板内閣(第1次大隈重信内閣)にいれられないとわかるや、無断帰国し、内閣を倒壊に追い込み、旧自由党系を中心とする憲政党を結成、第2次山県有朋内閣と提携して地租増徴法案の成立させ、 _府県会選挙で憲政党を大勝に導いて、党内主導権を確立し、 *伊藤博文を擁立して立憲政友会の結成に成功し、第4次伊藤内閣に逓信大臣として入閣したが、配下の関与した東京市会疑獄の嫌疑のため、2ヵ月で職を追われ、
Bushidou	・・1899＝49歳：
ビノ国産化	・1900＝50歳：
	_東京市会議長在職中、伊庭想太郎により東京市会で暗殺された。
田中正造直訴	1901＝51歳：